

いわて防災・気候講演会

～いわての気象と防災 150年、そして未来へ～

日時

令和7年

12月6日 土

13:00～16:00 (開場 12:30)

参加無料

事前申込制

会場

岩手県立県民生活センター

大ホール (岩手県盛岡市中央通3-10-2)

定員: 会場120名 オンライン: 100名 (Zoom)

第1部: 基調講演



「150年の気象・災害・気象業務・気候変動の歴史」
盛岡地方気象台長 蓼沼信三 氏

千葉県出身。気象大学卒業後、平成2年から各地の気象台や気象庁本庁で勤務。仙台管区気象台気象防災部 地球環境・海洋課長、熊谷地方気象台台長等を経て、2025年から現職。



「岩手県の気象災害と減災への取り組み」
岩手大学名誉教授 齋藤徳美 氏

秋田県出身。東北大学大学院卒業後、岩手大学で理事・副学長等を経て、2010年から名誉教授。地域防災学が専門で、岩手県風水害対策支援チームに有識者として参画するなど、風水害対策や火山対策等、長年にわたり県の防災対策の取組をリードするとともに、震災復興など「いわての復興・創生」にも携わってきた。



「様々な分野における気候変動影響と適応策について」
国立環境研究所気候変動適応センター
主任研究員 藤田知弘 氏

盛岡市出身。国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター特別研究員を経て、2019年より、現職。気候変動の適応策の研究に従事しているかたわら、適応に関しての全国の地方自治体のサポートを行っている。

第2部: オープンセッション

- 気象災害の歴史や気候変動を踏まえ、これからの暮らしと防災について、講師、参加者一緒になって考えます。

司会: NHK盛岡放送局アナウンサー

参加申し込み

〆切: 12月1日(月)

- 参加は電子メールによる事前申し込み制となります。
(会場: 120名、オンライン(Zoom): 100名まで)

- 講演会事務局(kouenkai_morioka@met.kishou.go.jp)宛てに

①お名前 ②参加方法(会場 or オンライン)

③差支えない範囲で所属(会社員・学生など)

を明記の上、12月1日までお申し込みください。

※オンライン参加者には後日、Zoom会議情報を返信いたします。



会場案内

盛岡駅⇨会場
徒歩10分

※公共交通機関等でお越しください。



お問い合わせ

盛岡地方気象台 講演会事務局

Tel : 019-622-7870

Eメール: kouenkai_morioka@met.kishou.go.jp

(盛岡地方気象台ホームページ <https://www.data.jma.go.jp/morioka/>)

要旨

講演Ⅰでは、気象業務開始から今年で150周年を記念し、岩手の気象災害を振り返りながら、気象台が果たしてきた役割や気象業務の歴史などを紹介する。

講演Ⅱでは、岩手県政150年を迎え、頻発する災害から県民の命を守るための、防災の取組等を紹介する。

講演Ⅲでは、岩手県の気候変動の現状と将来予測から分野ごとの影響や適応策について学ぶ。

オープンセッションでは、気象災害の歴史や気候変動を踏まえ、これからの暮らしと防災について、講師と参加者一緒になって考える。

プログラム

司会：NHK盛岡放送局アナウンサー

12:30 (開 場)

13:00～13:05 開会挨拶
小田嶋孝一 氏（盛岡地方気象台 次長）

13:05～15:00 第1部 基調講演

13:05～ 講演Ⅰ「150年の気象・災害・気象業務・気候変動の歴史」
蓼沼信三 氏（盛岡地方気象台長）

13:45～ 講演Ⅱ「岩手県の気象災害と減災への取り組み」
齋藤徳美 氏（岩手大学名誉教授）

14:25～ 講演Ⅲ「様々な分野における気候変動影響と適応策について」
藤田知弘 氏（国立環境研究所気候変動センター 主任研究員）

15:00～15:10 (休 憩)

15:10～15:50 第2部 オープンセッション